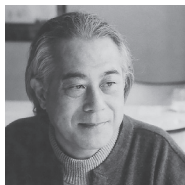


今年、『金子みすゞ全集』がJULA出版局から出版され40周年です。その記念すべき年に矢崎さんをお迎えして、私の20周年記念コンサートをさせていただくことはこの上ない喜びです。そしてこの門司港はみすゞさんも時々、弟・上山雅輔さんと一緒に買い物に訪れていたと言われ、矢崎さんも、私も、この門司港の街が、人が、大好きです。

みすゞさんが見つめた関門の海に重なる想い、対岸の下関から投稿した詩の心を、皆様と一緒に分かち合えたら嬉しいです。北九州をはじめ多くの方々との20年間のご縁に感謝して、お届けします。 ちひろ



矢崎節夫
童謡詩人

やざきせつお／昭和22(1947)年、東京生まれ。早稲田大学文学部卒業。童謡詩人佐藤義美、まど・みちおに師事。昭和57(1982)年、童話集『ほしとそらのしたで』(フレーベル館)で、第12回赤い鳥文学賞を受賞。学生時代に出会った童謡「大漁」に衝撃を受け、作者である金子みすゞの作品を探し続ける。16年ののち、実弟が持っていた遺稿にたどりつき、『金子みすゞ全集』(JULA出版局)として出版、以後その作品集の編集・出版に携わっている。長年の調査の集積として執筆した『童謡詩人金子みすゞの生涯』(JULA出版局)においては、平成5(1993)年、日本児童文学学会賞を受賞。全国各地で講演を行い、金子みすゞの甦りと広がり伝える。平成15(2003)年4月、金子みすゞ記念館(山口県長門市)の館長に就任。平成26(2014)年、「金子みすゞ甦り」に努めた業績と、童謡集『うずまきぎんが』(JULA出版局)が評価され、第13回童謡文化賞受賞。

令和3(2021)年には、長年の児童文化への貢献により、第60回児童文化功労賞受賞。



ちひろ
シンガーソングライター
ラジオパーソナリティ

金子みすゞの詩に作曲し歌い語るメッセージシンガーとして、全国各地や海外で公演活動を行っている。

作曲した「山口市民の歌」が山口市、「一寸法師」が長門市にてそれぞれ防災無線で各市内全域に放送中。NHK横浜放送局の番組テーマ曲、NHK旭川放送局の番組BGM、阿武町立阿武小学校の校歌等の作詞や作曲を手がける。

現在「すおう葬祭」のCMソングが山口県内で放送中。

広島東洋カープ公式試合(マツダスタジアム)にて国歌斉唱を務めた。

山口県山口市出身 山口七夕ふるさと大使

《レギュラー番組》

NHK中国5県放送「中国!ちゅーもく!ラジオYAMAGUTIC」

KRY「ちひろDEブレイク」

コミュニティFM全国放送「みすゞさんと明るいほうへ」

◆第7回日本放送文化大賞ラジオ部門準グランプリ受賞
エフエム山口「こだまでしょうか〜今、金子みすゞの心を聴きたい〜」
パーソナリティ ちひろ

金子みすゞを歌って20周年

矢崎節夫講演会 & ちひろコンサート



金子みすゞ
童謡詩人

写真提供：金子みすゞ著作保存会

本名金子テル。明治36(1903)年、山口県大津郡仙崎村(今の長門市)に生まれる。大正末期から昭和の初期にかけて、すぐれた童謡詩を発表し、西條八十に「若き童謡詩人の中の巨星」とまで称賛されながら、昭和5(1930)年、26歳の若さでこの世を去った。童謡詩人・矢崎節夫の長年の努力によって512編の遺稿がみつきり、没後50余年を経て、全集として出版された。平成15(2003)年4月には、みすゞ生誕100年を記念して、ふるさと長門市に「金子みすゞ記念館」が開館。実弟と共に下関から関門連絡船で門司港に訪れていたエピソードも残っている。



北九州公演

2024年6月21日[金]

[昼公演] 開場/13:30 開演/14:00

[夜公演] 開場/18:00 開演/18:30

会場/門司市民会館・ホール

北九州市門司区老松町3-2 TEL.093-321-2907

*バス/小倉・門司方面より「海岸線由田野浦行き」「東本町二丁目行き」「和布刈行き」で「レトロ東本町一丁目」下車

*タクシー/JR鹿児島本線「門司港駅」より約3分、
JR鹿児島本線「門司駅」より約15分

*徒歩/JR鹿児島本線「門司港駅」より徒歩約13分

*駐車場合数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

